



2015年3月21日  
国際森林製紙団体協議会(ICFPA)

### 国際森林デー(3月21日)

2012年12月21日の国連総会決議により、毎年3月21日は国際森林デーに制定されています。今年のテーマは「森林と気候変動」となっています。国際森林製紙団体協議会(ICFPA)は世界の林産品業界を代表しており、当産業界が事業活動全般において気候変動緩和に積極的に取り組んでいることを誇りに思います。

気候変動への取り組みに対するICFPAの声明文は以下をご覧ください。

[http://www.jpfa.gr.jp/about/global/pdf/icfpa\\_view\\_02\\_ja.pdf](http://www.jpfa.gr.jp/about/global/pdf/icfpa_view_02_ja.pdf) (日文)

[http://www.jpfa.gr.jp/about/global/pdf/icfpa\\_view\\_02.pdf](http://www.jpfa.gr.jp/about/global/pdf/icfpa_view_02.pdf) (英文)

ICFPAの理事長 Donna Harman は次のようにコメントしています。「木は元来二酸化炭素を吸収します。特に適切に管理された森林ではその効果は大きくなります。木材製品を生産するために木が利用されても二酸化炭素はその製品に貯蔵されたままであり、リサイクルの過程でもこの貯蔵は引き継がれます」

さらに林産品産業は、その生産活動に必要なエネルギーの大部分を余剰材や生産工程で発生する副産物から起こす再生可能エネルギーで賄っており、化石燃料依存の低減に大きく貢献しています。これら余剰材や副産物はバイオマスとして知られ、国際的な炭素算定基準において、その燃焼はカーボンニュートラルとされています。

林産品産業は、生産プロセスおよび革新的な新用途開発を通じ、バイオ由来で持続可能な新製品を広範に供給し、社会に貢献しています。

ICFPAは世界30箇所以上の国・地域の木材・製紙業界団体によって構成されている国際業界団体で、会員の生産量は世界の紙・板紙合計の90%以上、木材では約半分を占めています。

世界の森林・製紙産業のサステナビリティについて、詳しくはICFPAのウェブサイトをご覧ください。( [icfpa.org](http://icfpa.org) )

・本件に関する問い合わせ先:

Ms. Katharine Eaton

TEL: +1-202-463-2463 Email: [comm@afandpa.org](mailto:comm@afandpa.org)